

報 所

第 28 号 1996 年 10 月 発行
発行人 翁 長 良 盛
発行所 沖縄県立教育センター
〒904-21 沖縄県沖縄市字与儀587番地
電 話 098-933-7555
F A X 098-933-3233

センター実習って楽しいな！

教育センターのパソコン生徒実習は、高等学校の専門実習として、これまで商業と工業に関する学科の生徒を対象に行われてきたが、今年度よりすべての県立学校の生徒に枠を広げています。教科等における学習指導の一環としてコンピュータに係る実習を行い、情報教育の充実を図るために行われています。

生徒が当センターで学習することは、学校と違う環境で行うため一生懸命取り組んでいる姿が見られます。実習が進み、作品等ができあがっていく過程で、お互いの作品の批評をしたり、アドバイスのやり取りをしたり、とても楽しそうにやっています。



今年度は、これまでに浦添商業高校の生徒さんが、インターネットの実習やDTP入門等の実習を行いました。数年前までは、情報処理教育といえばプログラミング教育が中心であったが、その後、パソコンを取り巻く環境もWindowsというOSの登場により、マルチメディアやインターネットが身近になってきました。

また、扱うソフトも機種を問わず共通性が図られ、使いやすい環境が整ってきたといえます。

今後とも生徒たちのセンター実習が充実し、有意義なものになるよう努力していきたいと考えています。

目 次

センター実習って楽しいな！……………	- 1 -
「研究室だより」	
【教育相談研究室】待ちに待った“沖縄県適応指導教室”が開級……………	- 2 -
【保健体育研究室】好評だった「救急法」の実技研修……………	- 3 -
【肢体不自由教育研究室】肢体不自由児の食事指導の改善のために……………	- 4 -
【理 科 研 修 課】親子で楽しんだ夏休み開放教室……………	- 6 -
シリーズ③ 生きものたちの生活を通して教育をみる……………	- 7 -
【紹 介】平成8年度前期研修員「研修テーマ」一覧……………	- 8 -

待ちに待った“沖縄県適応指導教室”が開級

【教育経営研修課】
教育相談研究室

沖縄県適応指導教室（以下「適応指導教室」という）は、文部省の事業である「登校拒否（不登校）児童生徒の適応指導のあり方に関する調査研究」を推進するために、沖縄県教育委員会が委託を受け、沖縄県立教育センターが主幹となって平成8年9月2日に産声をあげました。適応指導教室では登校拒否（不登校）の児童生徒に対して、個別指導や小集団での指導を組織的に行い、自立を促しながら集団生活への適応力を高め、再登校ができるように相談及び指導をすると共に、適応指導のあり方について調査研究するために次の指導及び援助の方針を打ち立てて活動を行っています。

指導・援助の方針

- ① 適応指導教室が、子どもたちにとって「心の居場所」になるようにする。
- ② 他人との関わりの中で様々な体験を設定し、成就感や自信が得られるように援助する。
- ③ 集団活動を通して、自己の成長と社会性の育成を図る。
- ④ 訪問指導を含め、個に応じた指導・援助を行い、自立的生活ができるように援助する。
- ⑤ 計画的に個別の教育相談を行う。
- ⑥ 適応指導教室の指導にあたっては、教育センターの各課からの協力を得るものとする。
- ⑦ 保護者・在籍校・他の専門機関との連携を行う。

活動内容

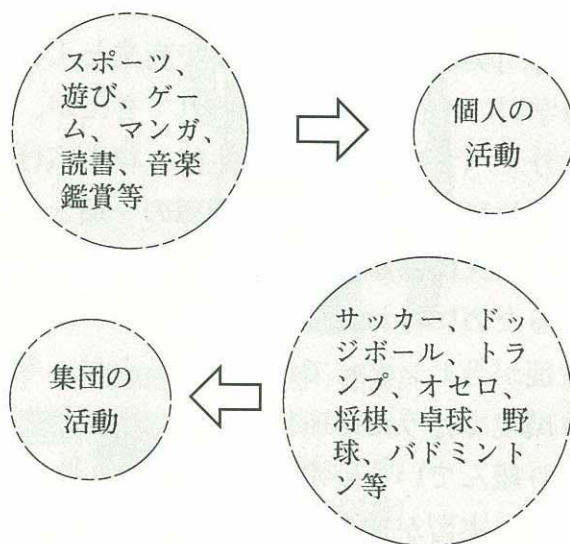
活動内容は、生活体験や自然体験、集団による創作体験、勤労体験、野外体験などを中心に、子どもたち一人一人が主体的に工夫しながら活動を広げると共に社会性を培っていけるよう配慮し、次の活動内容を設定しました。

① ふれあい活動

- ア 自由なおしゃべり
- イ 集団生活上の問題に関する意見交換

② 自由あそび

子ども一人一人が興味、関心を持ったものを通して心と身体の開放を図る。



③ 体験活動

- ア 野外体験活動
- イ 造形創作活動
- ウ 勤労体験活動
- エ 宿泊体験活動



④ 教科学習

チャレンジ…目標を立てて学習に取り組む

⑤ 教育相談…個人相談、グループ相談

このような諸活動を通して各課の協力のもとに、一日も早く学校復帰ができることを願いつつ、今日も活動を行っています。

好評だった「救急法」の実技研修

【教科研修課】

保健体育研究室

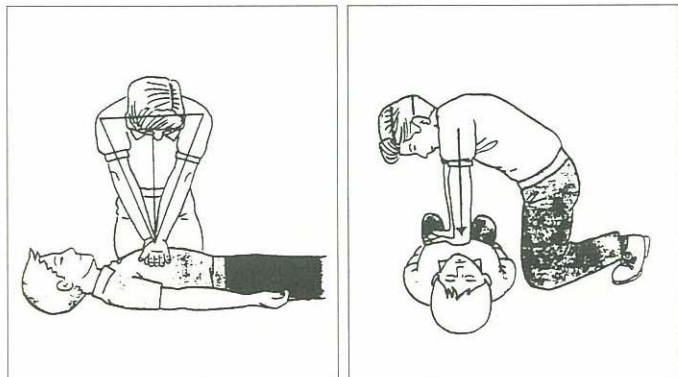
指導主事 神 谷 嘉 善

日本体育・学校健康センターがまとめた平成6年度の学校管理下における児童、生徒の死亡状況を死因別に見ると、心臓系を主とする突然死が88件で全体の52.4%を占め第1位。次いで頭部外傷が35件(20.8%)、溺死14%(8.3%)となっている。

学校管理下はもとより、日常生活、あるいは先の阪神大震災時のように、私たちの身近で救急処置が必要な場に遭遇することは十分に予想されることである。とりわけ、呼吸停止や心臓停止は迅速な処置が要求され、呼吸停止5分以内の適切な手当が蘇生の大きなカギといわれる。

このようなことから、救急法についての正しい知識と実践力を培うため平成8年度の短期研修講座で実技研修として計画し、小学校の先生方21名を対象に実施しました。

研修の最初は、ビデオにより人口呼吸法(マウス・トゥ・マウス)と心臓マッサージの方法について基本的な事を学びます。まず、呼吸の有無や心拍の確認、次に気道の確保、心臓圧迫の位置、1分間に行う回数やリズム、更に実施者の位置や姿勢等、予め確かな知識を習得します。



次に、人体モデル(ダミー)を使つての実践です。練習時間を確保することから、ダミーは当センター所有のものと合わせて二体準備しました。ダミーを相手にいよいよ実践です。ビデオ学習により、手順や方法等の理解はしているものの、実際自分で行ってみるとなかなか、思うようにいか

ないようです。また、ダミーは極めて精巧にできており、息の吹き込みや心臓圧迫の位置や力の加え方が適切でないと効果の表示ランプが付きません。特に、女性の先生方は息の吹き込みが弱かったり、心臓圧迫も不足がちで悪戦苦闘を強いられたようです。頭では理解しているつもりでも、実際自分で実践となると難しいものです。ましてや現実の場に遭遇するとなおさらです。試行錯誤を繰り返しながらも、約2時間の熱心なトレーニングにより技能的にも上達し、ある程度自信もついたようです。多くの先生方から評価が高く、成果を得ることができました。

次に、参加者の声と心肺蘇生法について紹介します。多くの人が、緊急時に勇気と自信を持って対応できるよう正しい知識と技能を身につけたいものです。



参加者の声(感想文から)

人工呼吸法は私自身、本などでやり方は知っていたつもりでしたが、実際やってみると以外とむづかしく、正直言って大変でした。しかし、この実習では人の命がいかに大切であるかも改めて認識しました。

心肺蘇生法の実例

〈人工呼吸と心臓マッサージの組み合わせ方〉

呼吸も脈もない場合は、人工呼吸と心臓マッサージを交互に行わなければなりません。

①1人で行う場合

【成人の場合】

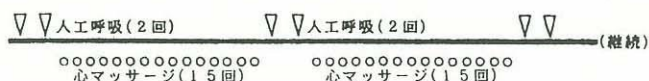
はじめに呼吸吹き込み法(マウス・トゥ・マウス法)で人工呼吸を2回行い、脈の有無を調べ、脈がなければ心臓マッサージを15回行います。ついで、呼吸吹き込み法で人工呼吸2回、心臓マッサージ15回の組み合わせを繰り返します。心臓マッサージの速さは、1分間あたり80～120回ぐらいです。

【小児・乳児(10歳くらいまで)の場合】

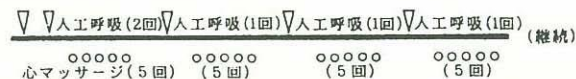
はじめに人工呼吸を2回行い、脈がなければ心臓マッサージを5回行います。次からは、人

工呼吸 1 回、心臓マッサージ 5 回の組み合わせを繰り返します。心臓マッサージの速さは、小児では 1 分あたり 80～100 回、1 歳ぐらいまでの乳児では 100～120 回ぐらいが目安です。

「成人の場合」



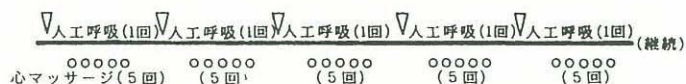
「小児・乳児の場合」



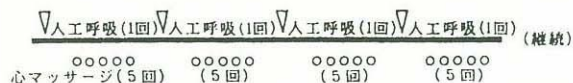
② 2 人で行う場合

1 人で心臓マッサージを 5 回行う間に、もう 1 人が呼吸吹き込み法で人工呼吸を 1 回行います。心臓マッサージの速さは、1 分間に 80～100 回ぐらい（ただし、1 歳ぐらいまでの乳児では、1 分間に 100～120 回ぐらい）が目安です。手当する人の位置は、患者をはさんで向かい合うようにすると、肩が触れ合わずに手当ができます。

「成人の場合」



「小児・乳児の場合」



(日本蘇生学会編：心肺蘇生法の手引きより)

肢体不自由児の食事指導の改善のために

【特殊教育課】

肢体不自由教育研究室

指導主事 玉 城 茂

特殊教育諸学校（盲学校、聾学校及び養護学校の総称です。）での食事指導場面としては、学校給食の時間があります。学校給食は、「学校給食法」や「盲学校、聾学校及び養護学校の幼稚部及び高等部の学校給食に関する法律」に基づいて実施され、それは、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達を促す上で重要な教育活動になっています。

学校給食指導のねらいとしては、楽しい雰囲気の中で教師は児童生徒とともに食事をするにより、食事の正しいあり方を身につけさせたり、食事を通して好ましい人間関係を育成したりすることなどがあげられています。（文部省・小学校指導書特別活動編・平成元年）

ところが、肢体不自由児の場合は、それ以前の段階でつまづいていることがよくみられます。例えば、食べ物を取り込む時に口唇を閉じられない、スプーンを歯で強くかんでしまう、口の中の食べ物を舌で押し出してしまう、食べ物をかまわずに飲み込んでしまう、飲み込みが下手でむせてしまうなどの問題があります。

近年、肢体不自由養護学校では在籍する児童生徒の障害の重度・重複化、多様化が進んでいるといわれています。そして、食べ物を口に取り込む捕食、咀嚼、嚥下などの食べる機能に障害のある肢体不自由児の多くは重複障害児で、それも重度の場合が多いようです。県内では、約 85% の児童生徒が重複障害学級などに在籍しており、食べる機能についての調査でも、小学部においては食べ物を口に取り込む時に口唇を閉じられない者が約 40%（次の嚥下時の口唇閉鎖や舌突出を含めて、行動観察でどちらともいい難い者も含めています。）、食べ物を飲み込む時に口唇を閉じられない者が約 35%、口の中に食べ物を取り入れる時に



舌を突き出してしまう者が約28%を占めるなど、食べる機能に何らかの障害を持っている児童生徒が多数いることが明らかになっています。そして、このような傾向は中学部や高等部の生徒にもみられるといわれ、食べる機能の障害に応じた指導は重要な課題になっています。(上地智博・肢体不自由教育研修会資料)

従来、肢体不自由児の食事指導は、経験に頼って食事介助を行って一定量の食べ物を食べさせることに重点をおいた指導がなされてきたように思います。例えば、口唇が閉じられなくて舌の突出などのために食べ物を口からこぼしてしまったり、口の中に入れられた食べ物を流し込むような食べ方になったりする場合の指導として、食べ物がこぼれないように少し上向きにしたり、むせないように注意しながら少量ずつ与えることなどが一般的に行われてきました。このような指導法には、なぜそのようにしてしか食べられないのか、食べる機能の発達から考える視点が欠けています。口唇を閉鎖した状態で飲み込みができるようになる食べる機能の発達過程がわかれば、発達段階に応じた指導内容・方法を用いることもできます。

肢体不自由児の食事指導において、食べる機能や行動の発達の視点から取り組む際に参考になる考え方として、「摂食指導」の方法があります。それによると、人間の食べる機能は生まれる前から本能として持っているものではなく、生後に発達・獲得されてくるものであるといわれています。そして、食べる機能は①捕食（食物を外部から口に取り込む動き）、②咀嚼（取り込んだ食べ物を噛みつぶして唾液と混ぜる動き）、③嚥下（咀嚼して噛みつぶした食べ物を飲み込む動き）などの特徴的な動きに分けられ、その発達の順序は、

嚥下→捕食→咀嚼となるとされています。また、食べる行動の発達は、哺乳→介助食べ→手づかみ食べ→ひとり食べ（食器食べ）と自立していくと考えられています。「摂食指導」の方法を取り入れて食べる機能の発達を促す食事指導を行うためには、食べる行動と機能の発達過程を考慮に入れながら、それらの発達段階に応じた調理形態（ペースト食→つぶし食→ほぐし食→軟食→普通食などがあります。）、食べさせ方などに配慮した指導を行うことが大切になります。(金子芳洋ら・食べる機能の障害—その考え方とリハビリテーション—・医歯薬出版・昭和62年)

「摂食指導」の方法を食事指導に取り入れて実施するためには文献で学習するだけでは不十分であり、研修会などに参加して知識や技術を習得し、

指導力を高める必要があります。「摂食指導」は、高度な専門的な知識や技術が基礎となっていますので、教師の独断で進めることは避けなければなりません。特に、障害が重い児童生徒の指導計画作成の際には、専門医の診断を受けてその情報を得ることも大切です。栄養職員や養護・訓練担当教員などとの連携



した取り組みによって、食べさせることが困難な児童生徒に対しても、安全で楽しい食事指導を進めていくことができるものと思います。

また、食事場面は児童生徒と教師との間で、密接なコミュニケーションが成立する場であることを認識し、多面的な指導の場としてとらえることも重要であると思います。

〇〇〇 親子で楽しんだ 〇〇〇 夏休み開放教室

【理科研修課】

指導主事

内 嶺 恵 子

当教育センターでは、今年も「夏休み親子開放教室」を実施しました。センターを広く県民に開放し、地域の学習環境づくりに努めるとともに生涯学習社会の推進に寄与するのが目的です。

今年4月に新設された生活科研究室と幼児研究室合同の「親子でおもちゃを作ろう」や理科研修課の「おもしろ科学教室」等、10講座に800名余の親子が参加しました。お父さん、お母さんと一緒に色々なものを作ったり、パズルに挑戦したり、動物の名前を英語で覚えるゲームや夏の星座を見つけようの夜間観察など、どの講座も親子で汗を流しながら楽しく学習しておりました。



「竹馬づくり」……お父さんも真剣

例年と違うのが「おもしろ科学教室」です。従来、各研究室ごとに行っていたものを初の試みとして、初等理科、生物、化学、物理、地学、技術、家庭を網羅し、時間内でたくさんのことが体験できるようにしたことです。

理科研修課の指導主事、長期研修生、学校現場からボランティアで参加した理科・技術・家庭科担当の先生方約40名で各々ブースを担当し、多目的ホールいっぱいになり広がりました。台風の影響で悪天候にもかかわらず、会場内は200名余の熱気でムンムンです。マングローブの生きものが珍しくおそろおそろ触れていた子、ノグチゲラがヒョッと一声鳴くごとに微笑む子、あちこち駆けずりまわっている子、子どもそっちのけで貝のキーホルダーを作っている親、時間の経つのもあっという間です。外での「大気圧でドラム缶をつぶそう」では、突然の爆発音とともに大きなドラム

缶が一瞬にペチャンコになり皆ビックリ。「水ロケット」は全員が見守るなか空高く舞い上がり、なんと最後は落下傘までついているではありませんか。万雷の拍手です。一瞬、宇宙を経験してきたような気持ちになりました。みんなの顔が満面の微笑みで輝いていました。

自然や身の周りの不思議な世界を観察したり、実験や工作などの体験を通して日頃何気なく見過ごしている諸々のことに新たな疑問を持つことができれば、そこから「なぜ?、どうして?」の疑問追求が始まり、解決の方向を探る行動が起こってくる。新しい何かが解ったときの喜びは、大人になっても忘れないものです。そういう経験を幼い頃からたくさん積んでいくことが、私たちの知識を確かなものにしていくのではないのでしょうか。

来年も親子に喜んでいただけるよう、講座にさらに磨きを掛けてみなさんをお待ちしております。



「僕カニ博士になったよ」

今年度実施した講座名と講座内容を簡単に紹介します。

◆月と惑星の観察

- ・夏の星座、北極星の見つけ方、星座早見盤の使い方
- ・天体ソフト「ステラナビゲータ」による観察

◆親子で算数を楽しもう

- ・クイズやパズルを親子で考える、空き缶の積み方から足し算を考える

◆英語で話そう

- ・ Learn numbers, Play numbers game
- ・ Play animal magic

◆親子でおもちゃを作ろう

- ・ ヤットコ作り、竹馬作り、お手玉作り

◆親子パソコン教室（午前・午後の部）

- ・ パソコンで絵を描こう

◆親子園芸教室

- ・ 野菜や草花作り…土作り、ミニトマト、ナス作り

◆親子立体地図作り

- ・ 段ボールを使って、沖縄本島の立体地図作り

◆おもしろ科学教室

- ・ 緑の冒険に出発しよう、はまぐりの貝殻が変身
- ・ トランジスタは小さな魔法使い、ふしぎ…浮かぶシャボン玉、あっと驚く超能力！念力！透視！神通力！



「水ロケット」……飛ぶかな～

シリーズ③ 生きものたちの生活を通して教育を見る

ゾウリムシの生活に教育の原点をみる

—豊かな時代の子どもに必要なもの—

【理科研修課長】

上 門 清 春

原生動物で単細胞生物のゾウリムシには雌雄はなく、環境条件さえよければ永遠に分裂をくり返して増えることが実験的に証明されています。しかしこの場合でも、純粋に分裂のくり返して増えるのではなく、およそ4から5週間ごとに、個体内でエンドミキシスという現象が起こります。一般に、1個の細胞は、1個の核を有するのが基本だが、本種には核が2個あって、その一つを大核、他を小核と呼びます。子孫を残すのに関係する精子や卵細胞の役目を担うのが小核と考えてよいでしょう。エンドミキシスとは、まず大核が消失し、小核は、2回の分裂によって4個になります。このうち3個はまもなく吸収され、残った1個が3回の分裂を行って大核及び小核を4個づつもつようになります。その後、2回の細胞質分裂を起こし、大核と小核とを1個づつもつ4つの個体ができます。この過程がエンドミキシスです。この事実からみてゾウリムシは、理想的な条件のもとに置かれても、純粋な二分裂法だけで増殖を続けることは不可能であって、ときに、エンドミキシスによって個体の「若返り」が行われる必要があるということになります。

また、ゾウリムシは、ある日・ある時、お互いを「意識？」し、体をひっつけてしまいます。このことを接合といいます。接合したそれぞれのゾウリムシは、小核を分裂させ、お互い一個づつ交換し、融合核をつくって2個体は離れます。それぞれ相手の遺伝子をもらうことで「若返った」ゾウリムシは、また、分裂で増え続けていくのです。

では、ある日・ある時とはいったいどんな時でしょうか。それは、ゾウリムシを取り巻く生活環境が「急変」した時です。例えば、個体数が増え過ぎて食物が不足したり、あるいは、その他の環境条件が悪化すると個体の生活力、即ち「生きる力」が弱まり、分裂能力も著しく低下してくるのです。ゾウリムシは、「飽食」のうちは、自分勝手な単独行動をしています、「飢餓」をきっかけに他のゾウリムシとコミュニケーションを行い、協力し合って悪条件の環境をのりきっていく行動を起こします。他を意識することは、他への「思いやり」の発現でもあります。このきっかけが、「飢え」であることに注目したいと思います。生物が他を意識し、思いやりの心を芽生えさせる為には、「飢えや渇き」を体験させることが必要であることを心にとめておきたいものです。

現代社会の子どもたちは、物質的にも豊かで、なに不自由なく過ごしています。それゆえに「意欲のない」児童生徒がいることも否定できない事実です。

このように、いたれりつくせりの世の中で育っている現在の児童生徒に、どう「生きる力」を育てるか、お互いの発想の転換が、いま、求められているのではないのでしょうか。

平成8年度 前期研修員「研修テーマ」一覧

課	校種	研究室	研 修 テ マ	氏 名	勤務校
教育 経営 研修 課	小学	道 徳	いじめ問題に対応する道徳の授業の工夫 ～資料選択とその活用を通して～	天 願 直 光	西原南小
		経 営	個の良さを認め合う学級経営 ～第1学年における学級通信の有効活用法～	伊 波 みどり	城 前 小
		経 営	個を生かす学級経営 ～高学年における係活動の工夫を通して～	嘉陽田 由紀子	志真志小
		教育相談	学校教育における養護教諭の役割 ～「心の健康管理」を中心に～	宮 平 幸 子	多良間小
		教育相談	登校拒否児童への行動療法的対応	仲 里 常 美	糸満南小
		へ き 地	複式学級における学習指導の工夫 ～ガイドを生かした説明的文章の指導を通して～	金 城 直 美	津 堅 小
		へ き 地	豊かな環境に能動的にかかわる児童の育成 ～環境教育1・2年の年間指導計画の作成を通して～	桑 江 操	大 岳 小
		へ き 地	複式学級における間接指導の工夫 ～算数科6年「立体」のCAIソフトの作成を通して～	平 地 皓	平 真 小
	中学	特別活動	自発的・自治的活動を高める生徒会活動の工夫 ～各種委員会活動を通して～	桑 江 常 勝	普天間中
		進路指導	学級活動における効果的な進路指導 ～年間指導計画の見直しと進路情報資料の活用の工夫～	西 里 カツ子	南風原中
		経 営	一人一人の自己実現をめざす学級経営 ～学級経営の年間指導計画の作成を通して～	松 本 哲	首 里 中
		教育相談	教育相談の充実をめざして ～教育相談全体計画と年間計画の作成～	神 谷 勝 彦	東風平中
		教育学	教育機器を活用した学習指導の改善 ～天体分野におけるCAI学習ソフトウェアの作成を通して～	上 里 多 一	石 垣 中
		へ き 地	へき地小規模校における学習指導の工夫 ～数学科(課題学習)におけるCAIソフトの作成を通して～	砂 川 恭 子	来 間 中
		進路指導	入学時から卒業までを見通した進路指導 ～本校進路指導の全体計画の作成～	漢 那 昭	小 禄 高
		経 営	校内研修を活性化させる学校経営 ～発展クラスの充実をめざして～	川 上 恒 雄	具志川高
	高校	教育相談	生徒の自己実現を促す指導・援助のあり方 ～D子の事例を通して～	林 春 江	糸 満 高
		教育学	高校理科「化学」の授業におけるコンピュータの活用 ～フリーソフトの利用を中心に～	中 村 健	北 山 高
	特殊教育科	特殊教育	実態に応じた学習指導の工夫 ～自閉児の水泳における段階的指導を通して～	高 良 正 幸	浦 城 小
		特殊教育	養護・訓練の指導の工夫 ～重度・重複障害児の人や物へのかかわりを促す指導～	仲 村 恵 子	泡瀬養護
		特殊教育	重度精神薄弱児の自発性を促す指導 ～A君が興味関心を持つ遊具による遊びの指導を通して～	高 安 浩 子	島尻養護
		特殊教育	働く力・生活する力を高める作業学習 ～一人一人に応じた農耕作業の工夫～	平 良 浩 希	宮古養護
教 科 研 修 課	小学	国 語	一人一人が意欲的に取り組む学習指導の工夫 ～「3年とうげ」の指導を通して～	山 内 久 江	喜 名 小
		国 語	豊かな言語力を育てる指導と評価の工夫 ～音読・朗読に書く活動を取り入れて～	新 城 啓 子	古 蔵 小
		社 会	学ぶ力を育てる社会科学習指導の工夫 ～調べ学習を通して～	宮 城 賢 士	大 北 小
		社 会	学ぶ力を育てる社会科学習指導の工夫 ～問題解決的な学習を通して～	竹 下 晴 康	翔 南 小
		算 数	子供一人一人のよさを生かす指導と評価の工夫 ～問題解決的な学習4年「垂直と平行」の指導を通して～	上 間 久美子	泡 瀬 小
		算 数	自ら学ぶ意欲を育てる算数科指導法の工夫 ～問題解決的な学習を通して～	玉 城 典 男	潮 平 小
		美 術	造形的な創造活動が高まる学習指導の工夫 ～中学年における「表したいことを絵に表す」の学習を通して～	新 垣 睦 子	高 嶺 小
		保 体	生き生きと楽しく活動する体育学習をめざして ～ミニソフトバレーボールの授業(教材化)を通して～	新 垣 剛 志	光 洋 小
		生 活	地域の学習素材を生かした生活科の授業づくりの工夫 ～「夏よこい」の授業実践を通して～	仲 里 博 美	坂 田 小
	中学	国 語	生徒の興味・関心を高める読書指導の工夫 ～教材選定と学年配列を中心に～	大 城 涼 代	神 原 中
		社 会	学ぶ力を育てる社会科学習指導の工夫 ～個に応じた課題解決学習を通して～	新 里 容 子	西原東中
		数 学	数学的な見方・考え方を生かす指導と評価の工夫 ～中学3年「課題学習」を通して～	仲 座 保	黒 島 中
		保 体	個に応じた体育学習の指導と評価 ～球技の選択制授業を通して～	下 地 政 彦	安慶田中
		英 語	表現意欲を高めるコミュニケーション能力を伸ばす指導の工夫 ～自己表現活動を通して～	金 城 京 子	上本部中
		国 語	表現に著目しイメージ豊かに読み取る詩の授業をめざして ～郷土の詩人・牧港篤三の作品の教材化を通して～	大 城 貞 俊	開 邦 高
	高校・ 特殊	数 学	個に応じ、個を生かす学習指導の工夫 ～数学IAにおける習熟度別学習を通して～	上 門 吉 照	具志川高
		音 楽	創造的な学習活動の充実を図る指導の工夫 ～肢体不自由養護学校高3における「音楽づくり」を通して～	大 城 智	鏡丘養護
		音 楽	主体性を培い、創造性を高める学習指導の工夫 ～音楽Iにおける郷土の音楽を通して～	国 吉 清 昂	那覇商業
		英 語	コミュニケーション能力をのばす授業の工夫 ～リーディング(直読直解方式)の指導を通して～	仲宗根 勝	陽 明 高
	小学	算 数	学ぶ意欲を育てる学習指導法の工夫 ～ティーム・ティーチングによる問題解決的な学習指導を通して～	池 原 敏 雄	南 小
		算 数	自ら学ぶ意欲を育てる学習指導の工夫 ～3・4年生(複式)における問題解決的な学習指導を通して～	伊 計 喜和子	宮 島 小
理 科 研 修 課	小学	家 庭	児童が主体的に活動する家庭科学習指導の工夫 ～コンピュータを活用した調理を通して～	島 袋 治 子	恩 納 小
	中学	技 術	電気領域における発展教材の開発 ～トランジスタの働きを通して～	川 端 修	北 中
		物 理	電流の基本概念を形成させる指導法の工夫 ～電流のモデル化を通して～	金 城 徳 子	真志喜中
	高校	地 学	地学Ⅱの課題研究の指導の工夫 ～微化石(有孔虫)の教材化を通して～	山 田 真 弓	向 陽 中
		化 学	人間活動と水質の保全 ～宜野湾市の湧水群を例として～	東 田 盛 善	八重山商工
	小学	情報教育	小学校におけるコンピュータの活用 ～保健指導における「園科」の教材ソフトの作成～	安 里 正 明	中 城 小
情 報 処 理 教 育 課	高校	情報処理	英語の授業におけるコンピュータの活用 ～個別学習を支援するマルチメディア型CAIソフトの作成～	山 田 明 美	八重山高
		情報処理	「情報処理」における教材開発 ～Visual Basic for Windowsの指導書作成～	福 地 香	浦添商業
		情報技術	マイコン制御実習の教材開発	与那覇 強	那覇工業
		情報技術	JW CADを利用した土木製図の教材作成	古波蔵 敬	翔 南 高